

# 第三章

アイスブレイクあれこれ

### アイスブレイクとは…

前章で紹介した学習プログラムは、すべて「導入」－「展開」－「まとめ」という流れをもって構成されています。

この流れをスムーズにし、学習の効果を高めるためには「導入」はとても大事な時間です。参加者には“動機づけ”の意味をもつからです。

生徒あるいは参加者は、これから始まる学習の時間に向けて、

「これから何がはじまるのか」

「何か一つでもいいから学びたい」

「どんな人が集まっているのかな」

「誘われたから来たけど、早く終わらないかな」

など、楽しみと不安が入り混じった、身も心も構えた状態になっています。

アイスブレイクとは、直訳すれば「氷 (ice) を砕く (break)」という意味ですが、学習プログラムにおける意味は、参加者の氷のように固まった「身構えた状態」をリラックスさせ、学習を進める準備状態にすることを意味します。

ここではアイスブレイクで用いるアクティビティ<sup>\*</sup>のいくつかを紹介しましょう。

※アクティビティと学習プログラム:アクティビティは学習プログラムを構成する「個々の活動単位」のこと。学習プログラムはアクティビティを組み合わせ、目的をもった一連の流れをもたせた全体の活動のこと。

### アイスブレイクあれこれ

#### ☆ 魔法のマイク

所要時間：10分程度

人数：10～30人

準備：古いマイクまたは柄つきのたわし（イラスト）

自己紹介の時に、「今から話してよいのはこの魔法のマイクを手に入れている人だけです。他の人はマイクを持っている人の話を聞かなければなりません」と説明し、魔法のマイクを順番に回します。1周目は姓だけ、2周目は姓名、それ以降は出身地と姓名、誕生月と姓名などと紹介項目を増やしていき、徐々に相互理解を進めます。



#### ☆ 誕生日チェーン

所要時間：10分程度

人数：何人でも

準備：特になし

「会話をしない」という条件で、「誕生の月日順」に並んでもらう。並び終わったら順番に誕生日を発表してもらいます。言葉以外のコミュニケーションの技法を引き出したり、自ら発することの大切さに気付くことができます。誕生の月日順の他、氏名の五十音順、出身地の北から南順などでも可能です。

## ☆ 四つの部屋

所要時間：10分程度

人数：10人以上

準備：会場の四隅の壁にA・B・C・Dと書いた紙を掲示

会場を4つの部屋と仮定して、例えば、「私は野菜が好きだ。そう思う人はA、どちらかといえばそう思う人はB、どちらかといえばそう思わない人はC、そう思わない人はDの部屋に移ってください。」と問いかけ、移動してもらいます。複数の問いかけを重ねて、自分と他の人との共通点や違いを発見することができます。さらに、「家庭の教育力は低下している」や「親になるためには学習が必要である」など、本日の学習テーマに関する問いかけをしたり、集まった人たちに「なぜそう思うか」をたずねることで、問題意識を共有することもできます。

## ☆ にんげんフルーツバスケット

所要時間：10分程度

人数：何人でも

準備：イスを円形に並べて座る

フルーツバスケットの要領で、参加者の多くに共通すること（例えば「今朝、朝食を食べた人」、「北海道に行ったことがある人」）を問いかけます。イスを人数より1つ少なくしておき、あてはまる人は、今座っている座席と両隣以外の空いている座席に移動してもらいます。夢中になるとぶつかったり、座るときに転んだりするので、「走ってはいけない」などの注意が必要です。

大人が対象の場合には、人数分のイスを用意して、一ヶ所を発問者席として、あてはまる人が立ち上がり、右に2つずれて座り、次に発問者席に座った人が次の問いかけをする方法もあります。

## ☆ デートのお約束

所要時間：15分程度

人数：10人以上

準備：B5判またはA4判の紙

参加者に右のようなスケジュール帳を作成してもらいます。その後、「はい、どうぞ」の掛け声の後、同じ人と2回は約束ができないことを条件に、全員がランダムに、各曜日に一人ずつデートの約束をして、お互いに同じ曜日に相手の名前を記入します。すべて予定が決まった人から並んでもらいます。その後、

月	火	水
木	金	土

「では水曜日の人とデートをしましょう」などと曜日を指定し、相手の所に行って自己紹介等を行います。すべて埋まらない人が出ることもありますが、埋めることや早く終わらせることが目的ではないので、指導者やスタッフなどと約束させてもよいでしょう。

☆ 私を知って！

所要時間：10分程度  
 人数：何人でも  
 準備：B5判またはA4判の紙

紙を折って四分割し、右図の項目について書き込んでもらいます。その後、この紙をもとに多くの人と自己紹介

し合います。書き込む項目に「自分の子どものことで、最近一番うれしかったこと」などを設けてもよいでしょう。P88の「デートのお約束」と組み合わせることも可能です。

ふりがな 名前	このまちの すきなところは
このまちに いつから 住んでいるか	最近あった とっても うれしいことは

☆ 話題づくり

所要時間：人数×3分程度  
 人数：5人以上  
 準備：メモ用紙サイズの紙

全員に紙を配り、本日の学習テーマに関する質問やみんなに聞きたい質問を一つだけ記入してもらいます。見えないように折って、箱などに集めます。参加者は、その箱の中から無作為の一つ取り出し、記入された質問を読み上げ、自分なりの回答をします。ここで書かれた質問内容をもとに話し合いをすることも可能です。

- 〈質問の例〉
- 子育て情報はどこから入手していますか？
  - あなたは紙おむつ派？布おむつ派？
  - 子育てする上で“これは問題だ”と思うことは？

☆ もしもあなたが親ならば

所要時間：15分程度  
 人数：何人でも  
 準備：ワークシート（別紙）を人数分

ワークシートの各項目について、参加者は自分の思いを書きます。そして2人で自己紹介をしながら、説明し合います。次に、3～4人程度のグループに分かれ、同じ意見を確認し合ったり、1・2・3の記述内容の矛盾点を言い合ったりします。親の願いとはどういうものか、意見を出し合い、まとめ、グループごとに発表します。

児童・生徒に対して行う場合には、さらに発展させて、自分の思いを親にわかってもらうためにはどうしたらよいかを考えさせることや、全体を親側の意見と子ども側の意見に分けてディスカッションさせることも可能です。ただし、児童・生徒の家庭の状況については特に配慮が必要です。

<別紙>ワークシート

もしもあなたが親ならば…

名前 \_\_\_\_\_

1 あなた自身は許してもらえないことで、あなたの子どもにはやらせてあげようと思うことは何ですか？2つあげてください。

- 
- 

2 自分の子どもに許さないことは何ですか？2つあげてください。

- 
- 

3 あなたが自分の子どもに対して言わないことは何ですか？3つあげてください。

- 
- 
-

## ☆ 人数を集めろ!!

所要時間：10分程度

人数：10人以上

準備：特になし

指導者の「せーの」の掛け声の後、指導者と参加者が一緒に、手拍子を一つずつ増やしながらかきます。「せーの」パン、「せーの」パンパン、「せーの」パンパンパン……と。指導者は適当なところで「はい！」と声をかけ、最後の手拍子の数の人数で誰でもいいから集まり、手をつないで輪になります。指定した人数が集まらなかった方に、簡単に自己紹介をしてもらいます。手拍子の数は減らしたり増やしたりランダムにして繰り返します。

また、次のアクティビティのグループ分けに用いることもできます。

### アイスブレイクを進めるときに…

ここで紹介したもの以外にもさまざまなアイスブレイクのアクティビティがあり、身体的な動きを伴わない手遊び的なもの、頭の体操的なものもあります。

しかし、アクティビティをいくつか知っているかは、実は指導者・ファシリテーター（学習支援者）としてそれほど重要なことではありません。それは、参加者である児童・生徒や参加者の年齢や人数、集団の特徴などや、学習内容、会場の大きさなどその場の状況や環境によって、適しているアクティビティは変わりますし、アレンジや創作をすることが必要となるからです。その場の状況や雰囲気に応じて時間を延ばしたり、予定していたものを変更したりして、その場に適したアクティビティを用いること—これが最も大切なことなのです。

また、アクティビティの中には、使い方や参加者の受け取り方によっては、特定の人を傷つける可能性のあるものもありますから、プライバシー、思想・信条、障害の有無などには十分に気を配り、参加者や学習内容、目的等に合わせて選択・アレンジして、適切なものを用いることが重要です。

「導入」は次の段階「展開」への準備段階なので、アイスブレイクは単なる楽しいひとときで終わらせずに、「展開」へとスムーズに移れるような流れをぜひ考えて進めましょう。